

在宅生活を支える 用具のスペシャリスト

福祉用具
専門相談員って
どんな人？

福祉用具は介護認定を受けた高齢者が自分の力で在宅で暮らすのを手助けするアイテムの1つです。多種多様な製品の中から、一人ひとりに合った福祉用具を見つけてくれる福祉用具のスペシャリストが「福祉用具専門相談員」です。

福祉用具専門相談員は利用者に向けた福祉用具の選定・提案を行います。納品後は定期的に訪問して福祉用具の点検やモニタリングを行います。

▽要介護度▽身体状況▽家族構成▽住宅の環境——など様々な状況から利用者に向けた福祉用具選定のアドバイスをします。

具体的には利用者との相談を踏まえた福祉用具利用計画の作成、利用者の障がい、要介護の程度、住宅の構造、環境に合わせた福祉用具の適合・調整、取扱説明、定期的に利用者宅で福祉用具の点検をし、安全に使えるようサポートします。

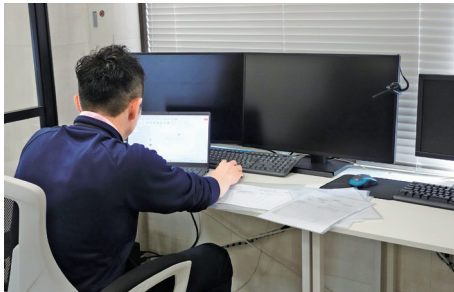
福祉用具専門相談員の1日



田中 洸平さん

田中洸平さんは福祉用具専門相談員として勤務を始めて13年目。「福祉用具というのは利用者が在宅生活を続けられる可能性や、家族の負担軽減などに大きく影響するので、ものすごく責任がある仕事です。多くの人々の生活を支えるためにも、福祉用具や介護、医療など様々な知識を身につけて役に立ちたいです」と仕事の魅力を語ります。

9:00～9:30 オフィスで書類の準備



オフィスで必要な資料を準備

通常は自宅から直行していますが、契約書などはオフィスで保管しています。今日は訪問する利用者の計画や見積もり、ケアマネジャーへの報告書を用意します。

10:00～10:50 ケアマネジャーと一緒に利用者宅を訪問し、福祉用具を選定・提案

利用者の身体状況の確認と、居室内に搬入できるベッドのサイズを確認します。

現在は起き上がりができず、横になったまま食事をしているため、安全に食事ができるようリクライニング式マットレスを選定しました。

11:00 メーカーに選定した福祉用具の発注依頼。ケアマネと家族に連絡して搬入日を相談

選定した福祉用具の在庫をメーカーに確認して、最速の搬入日を相談します。

ご本人が、少しでも早く快適な居室環境で過ごして頂くためにも、スムーズな対応を心掛けています。

11:30～12:20 利用者宅へ介護ベッドを納品

すでに選定が終わっている利用者の自宅に介護ベッドを納品して組み立てます。

「テレビが見える位置がいいわ」という希望に合わせて場所を決めます。

選定後でも、ご本人がどのような生活をしたいのか、安全に使えるかの確認が重要です。組み立て後にご本人とご家族を交えて丁寧に説明します。



利用者の自宅でベッドの組み立て



利用者と一緒にベッドの位置を調整

13:00～14:00 利用者宅へ車いすの選定と搬入、設置済みの手すりの点検

歩行が難しくなった利用者への車いすの選定と搬入。家族が介助するため、車いすの座り心地と合わせて、重さを比べてもらいます。



福祉用具の使い方を家族と利用者へ説明

重さや形状はメーカーや機種によって違います。ご本人だけではなく、介助をするご家族も安全に使ってもらえるよう、選び方や使い方のポイントをしっかり伝えます。



車いすの操作方法や注意点を家族に共有

15:30～15:45 利用者宅へミトンの納品

カテーテルを自ら抜いてしまう利用者へミトンを納品します。



ミトンは手の動きを抑えてしまうため身体拘束に繋がってしまいます。今回のご利用者は難病指定を受けており、カテーテルを抜いてしまうと状態が悪化する危険もあるため、医師や看護師、ケアマネジャーと相談してご家族の了承の元、納品しました。

16:00 ケアマネジャーへ選定結果や納品の報告

納品や選定を行った利用者の担当ケアマネジャーに状況を報告しに行きます。

タブレットの写真を活用したり、設置写真や福祉用具の効果を一枚にまとめた同社オリジナルの報告書を活用し、分かりやすい形で共有しています。



発注や記録はタブレット端末で入力

16:30～17:30 ケアマネジャーへの案内

ケアマネジャーへ新商品の紹介や報告を行いながら、当日の緊急での依頼等に備えます。

迅速な対応が求められることが多い業界なので、当社ではLINE WORKSというチャットツールを活用しています。最も対応の早い相談員の調整・手配が可能で、【即日対応】ではなく【即時対応】ができるような仕組みになっており、スピード対応が可能です。

17:30～18:00 新人研修の講師として指導

現場での疑問点や確認点をその日のうちに解決し、現場で困った際も社内のチャットツールを活用し、先輩や上長からリアルタイムで返答できる仕組みを構築しています。